



「殺すぞ」上司からの連続的なパワハラで自殺...裁判で「労災不支給」が覆った理由

阪神高速道路の交通管理会社で働いていた男性（当時24歳）が自殺したのは、上司のパワハラが原因だとして、遺族が国に労災不支給決定の取り消しを求めた訴訟の控訴審判決で、大阪地裁は9月29日、上司のいじめでうつ病を発症したと判断し、労働基準監督署に支給を命じる遺族側の逆転論議を言い渡した。

今回の裁判で、二審の大阪地裁と一審の大阪地裁の結論が分かれたポイントは、「自殺とパワハラに因果関係があるかどうか」という争点についての判断の違いにある。

●上司「歩き方が気に入らない」「道場に来い」

男性はどういったパワハラを受けたのだろうか。判決によると、男性は2010年に入社し、阪神高速道路の巡回パトロール業務を担当。12年4月に異動し、今回のパワハラの原因となる上司と同じ課に配属された。男性は幼少時から空手を始め、高校ではインターハイに出場するなどの実績があったが、上司は、「空手の空手はなんちゃって空手だ」と男性の空手を否定しバカにする発言をした。

同年4月には上司は男性を道場に誘っており、男性は「道場に行ったらボコボコにされる」と脅かされている様子だったという。周囲の従業員も男性から、「仕事のことでも強く言われる。細かいことも言われ、すごく辛い」「(仕事のことについて)自分の技量を認めてくれない、厳しい」と話を聞いていた。

そして男性は同年5月25～26日の夜勤で、上司とペアを組んで3回の巡回パトロールを行った。2回目の巡回に出発する直前に、上司は男性に「歩き方が気に入らない」「道場へ来い。道場やったら殴りやすいから」と大声で発言。2回目の巡回後、事務所まで巡回終了後にすべき書類整理を始めていた男性に激怒し、「何もしない言うたやろ。殺すぞ」と大声で怒鳴りつけた。

3回目の巡回中には、男性は上司からパーキングエリアでの不審車対応や落下物の処理について厳しい注意を受け、巡回後にそれについて文書まとめるよう指示され提出したところ、「小学生の文書みたいやな」と大声で言われた。27日は出勤していたが、28日前、自宅の自室で亡くなっているのが見つかった。

●大阪地裁と高裁の判断の分かれ目

大阪地裁は、上司が男性に行った11つのハラスメント行為について、厚生労働省の行政基準である「心理的負荷による精神障害の認定基準」に照らし合わせて一つずつ検討した。

例えば、2回目の巡回後に「殺すぞ」と怒鳴りつけたことについては、「業務指導の範囲を明らかに逸脱するもので、ひどい横からせ、いじめに該当すると認められる」としながらも、「認定基準において心理的負荷が強いとして列示されているものに該当するとは見えない」としている。

総合的評価として、「一連の出来事の中で最も心理的負荷が強いのは「殺すぞ」と言う発言であり、その心理的負荷の程度は「中」にあたる」とし、「全体としての心理的負荷の強度を中と評価するのが相当」と判断。「うつ病を発症させる程度に強度なものであったとは認定せず、神戸労働基準監督署が労災を支給しないとする決定を支持した。

これに対し大阪高裁は、「殺すぞ」といった発言について、「それぞれ単発的に行われたものではなく、それ以前に他の言動があった直後、連続的に行われたことから心理的負荷はより強いものになったと考えられる」と判断。

「改定までの2か月間に業務による相当程度の心理的負荷があったところに、夜勤時の出来事によって、業務による強い心理的負荷があった」として、自殺直前にうつ病を発症したというべきと認定した。

●「ハラスメントを個別に検討することは間違っている」

遺族の代理人をつとめる釜野達弁護士は、「ハラスメントは複合的に連鎖していることが多いため、大阪地裁判決のように単発的に評価することは間違っている」と話す。

「大阪地裁判決は、ハラスメントを個別に列挙して検討し、その内容も間違えているうえに、それぞれのハラスメントが一連の行為として負荷を高めるという視点がありませんでした。『誰かが分断してそれぞれだけ切り取ってみたいとしたことにはなし』といった矮小化を行ったと見えます。また、ハラスメントの労災事件では、パワハラを受けた被害者が笑っている、反論しない、黙っているなど表面的な事象だけでなく、被害者の置かれた状況を客観的に踏まえて検討しなければなりません。今回の大阪高裁判決ではそれが明確に認められたと思います」

(弁護士ドットコムニュース)

Profile of 波多野 達 (Hatanota Tatsuo), a lawyer with 10 years of experience, specializing in labor law and accident compensation.

Advertisement for Amazon Business featuring various office supplies and a promotion for a 3000-member community.

Advertisement for an experience talk collection (体験談募集) with a deadline of Dec 14, 9:55.

Grid of article thumbnails with titles like '借入金2社以上の借り入れは返済不要?それを知りたい! 借入特約期間-借入-返済プラン' and '最高級「殺人」の特效薬...さかのぼって適用できる? なぜ「合意」と判断したのか?」

Recommended by Yahoo! JAPAN: 労働基準監督署 労災, 労災 うつ病 認定, 大阪 事件, 従業員, 殺すぞ

新着記事: 原画に相続税がかかる? 漫画家の新たな悩み、傑作賞獲得が起きたら悲劇な事象に「認定が!」...

Advertisement for BIXTA high-quality plastic materials, featuring a coupon for 540 yen off.

Advertisement for 'Zutto' (ずっと) regarding unpaid wages (売掛金の未入金).

Recruitment advertisement for editors and freelance writers (編集スタッフ 協カライター 募集中).

Advertisement for a video or article about a person's experience with 'Iiwai' (いいわい).

Advertisement for a recruitment agency (井護士ドットコムニュース) with a Facebook link.

Advertisement for Amazon Business, highlighting business purchases and Amazon Prime.

Access Ranking (アクセスランキング) table showing top articles for today, this week, and this month.

Legal consultation (新着みんなの法律相談) section with various topics like '地方公務員の有休イベントの開催は罰金にあたるのか?」.

Advertisement for AI translation services (AI 自動翻訳 T-400) with 95% accuracy.